

【対話】のスコラ 開催にあたって

心理臨床では「深い関係性」の重要性が指摘されています。様々な面接上の技法よりもセラピストとクライアントの関係性が問題解決においての重要なポイントです。ではどのような関係性にして関係性を深めていくのか。それは【対話】と「プレゼンス」によります。今回の対話の学校ではこの二つの精度を高めていくことが大きな目的です。上様々なSVやワークを展開する中で、カウンセラーにとって大切な、対話とは何かを学んでいきます。対話を支えるカギはカウンセラー自身が感じていくことに気づき、それをどのような言葉で伝えていくかです。

心理療法家として定行自身が身に着けてきたものを全力で皆さんと共有していきたくないと考えています。自ら積極的に発言し、質問し、学ぼうとする人を求めます。そして、人間性心理学が求める「深い関係性」の構築について、現在の日本の文化・心理療法にマッチするような、アップデートを目指していきます。

定行 俊彰

【対話】のスコラ 東京

日時 2024年2月23日(金祝) 10:00-17:00
2月24日(土) 9:30-16:30
参加 プラクティカー参加者は原則二日間通しの参加
参加費 2日間 38,000円
(ワンコイン参加500円/一日)
定員 プラクティカー参加ワンコイン参加各10名
場所 四ツ谷駅周辺

《キャンセルについての規定》

参加申込のキャンセルについて以下の規定を予めご了承、ご同意のうえ申込んでください。
・開催当日の14日前までに参加費の着金確認ができない場合、自動的にキャンセルとなります
・開催当日の14日前より100%のキャンセル料発生として、参加費の全額を返金しません
・主催者・事務局側の都合による開催中止の場合は、事務局が振込手数料を負担し、参加費の全額を返金します

【対話】のスコラ

Start



公認心理師、仙台ゲシュタルト&カウンセリング代表、宮城県スクールカウンセラー。ゲシュタルト療法を学び、30年以上が過ぎる。クライアントのからだの感覚に焦点をあて、からだの声を引き出すワークに定評がある。
講師 定行俊彰

心理療法家として、あるいは、心理臨床の近接領域、福祉・医療・教育等で活躍している人たちに対して、支援における対話・プレゼンス・ワーク等レベルアップをガチで目指します。

プラクティカー参加枠

心理臨床に限らず対人支援を実践する方々。ワーク体験やCFO、SVなどを題材にして、各ワークを時間をかけて十分に検討していきます。全員がワークを受けられるわけではございません。対話の学校で学びを深め、日常での実践に活かすことを目的にご参加ください。

参加条件：**本気で対人援助を実践したい人**

ワンコイン参加枠

カウンセリングやゲシュタルト療法の経験が浅い方は**ワンコイン(500円/一日)でお試し体験ができます**。カウンセリングの実際を見るだけでなく、ワーカー/クライアント体験をするなど協力してもらうこともあります。プラクティカーの実践の場なので、問題が解決しないことがあることをご了承ください。

参加条件：ゲシュタルト療法のワークショップ体験30時間未満、またはワーカー/クライアント体験5回未満(事前審査あり)。医療機関を受診されている方は、必ず医師にご相談の上、判断をしてください。

身から放たれる言葉を丁寧に聴く。互いの生き様を尊重し、何が起きているのかに気づく。心理療法ではこの基本的な態度をもって人とかかわります。従来のゲシュタルト療法においては、理論や技法と実践の結びつきが不明瞭でした。「私がそう感じたから」「そこにエネルギーを感じたから」などの曖昧な指導から学ぶことは少ないと言えます。なぜそのような問いを発したのかが大切です。

定行さんは、そのような旧来のあり方に一石を投じ、独自の人間観に基づいたゲシュタルト療法を展開しています。その瞬間での人との出会いを大事にし、自らに生じる感覚に気づきながら言葉にすることで、ワークが展開していきます。同じワークは二度となく、また定行さんのあり方も時を経てアップデートし続けていきます。

私たちは、そんな定行さんとともに、相手との出会いによって反応する身をもって、目の前の人とどのようにいるかを探求していきます。

ゲシュタルト療法に限ることなく、心理療法家として子どもから大人まで様々なクライアントに接し、カウンセリングを実践している定行さんから「深い関係性」に基づいたカウンセラーの在り方と対話について学ぶことができると思います。

筒井 優介

参加申し込み方法

右のQRコードを読み込み、申込フォームをご入力ください。

先着順。会場・振込先・キャンセル規定など詳細を追って連絡します。

問い合わせ先：うちゲシュ事務局

info@ouchi-de-gestalt.net



●参加申込に際しての注意事項

次に記載の各項目を参加申込の事前によくお読みいただき、同意いただきましたら

同意のうえ参加申込します

にチェックを入れて参加申込してください

《ワークショップの運営について》

1. ワークショップ(=以下「WS」)は、WS参加者とファシリテーター(=以下「FT」)が相互の了解の上で開始し、お互いを尊重し合う信頼関係に基づいて進行するものとします

2. WSは、医療行為、または医療行為に代わるものではなく、診断、薬の処方、診断書の作成、保険の適用などはできません

3. 現在、心療内科や精神科に通院中の方はあらかじめ主治医にご相談の上、ご自身の責任においてご参加ください。主催者およびFTが必要と判断する場合には、WS開催の事前に主治医の作成によるWS参加承認の照会状のご提示をお願いします

4. WS運営上の安全を脅かす行為や無断キャンセル、著しい遅刻などが認められた場合は、主催者およびFTの判断により、WSへの参加をお断りする場合があります

5. WSでFTは、専門家として最善の注意をもって対応します。しかし、必ずしも参加者に対して一定期間での問題解決等を約束するものではなく、参加者自身の自己成長力や自己治癒力を信頼し、さらには自己探求のサポートを目指すものであることをご理解ください

6. 自殺や自殺企図および他者への危害などがWS中に示された場合、主催者・事務局およびFTはこれらの危機回避のための最善の努力をいたします。しかし、万一の事故発生の場合、ご本人・ご家族・その他の利害関係者に対して、損害賠償を含む一切の法的な責任を負いません

7. WS開始時にワークをする希望者、ワークを受ける希望者を募り、それぞれの希望者が多数の場合は抽選とします。抽選で選出されたとしても時間配分の都合によってはワークが実施されない可能性があることをご了解ください

8. 会場では椅子や可能な場合は座布団を用意します。座りやすい服装での参加をおすすめします

9. 多少の飲物とおやつを用意する場合があります。お菓子等の差し入れは拒否しません

10. 昼食の手配等はしません。各自で自由に調達し、召し上がってください

《守秘義務について》

◆主催者・事務局、およびFTの守秘義務

1. WSに参加される方々の守秘義務の対象(以下2項に記載)を決して外部に漏洩しません。しかし、メールのやり取りの記載内容等がパソコンやインターネットのシステムの不具合等により、あるいは、ウイルス感染等により漏洩した場合は、該当システム会社の責任に帰属するものとし、主催者・事務局、およびFTは、損害賠償を含む一切の法的な責任を負いません

2. 守秘義務の対象

①個人情報

氏名、年齢、住所、連絡先、主訴、職業

②ワーク内容

どのような個人ワークの内容であったか、話された事案・事象の経緯

③プライバシー

上記の①、②によって顕わとなった人間関係と利害関係や日時等の詳細

3. 守秘義務の例外

次の各項目に該当する場合は、守秘義務の限りではなく例外となります。

①裁判所の命令がある場合

②法律上の規定がある場合

③ワーク実施者自身や、WS参加者に生命の危険性がある場合

④他者(個人、組織)に重大な危害を加える明確な意志が認められる場合

上記の各項目に該当する事案、事象が現認される場合には、適切な対応を取るために主催者・事務局およびFTが知りえた情報をWS参加書の同意を得ることなく外部に通告する場合があります

◆参加者の守秘義務

1. WS参加者がWS開催時間内に知り得た他の参加メンバーの個人情報等の守秘義務の対象(前述2.の①②③等)について、他者への口外漏洩やメール・SNS等の媒体に掲載して発信するなどの行為は許されません。安全で安心できるWSの場を構築するためにも必ずお守りください

2. WS参加者が自己のワークを自己探求、学習目的のみでの録画・録音を希望する場合、FTと相手となる参加者から事前の了解が得られる際には記録を実施できるものとし、ワーク終了後に内容を振り返り、FTと相手となる参加者に記録を保持することの是非を確認し、否認された場合にはその場で記録データを削除、消去してください

以上